

芦別白光舎 平成 29 年度 事業報告書

1. 総括

障害の有無等に制限のない社会事業授産施設として、就職の困難な利用者の受入れに取り組み、その役割を果たすため福祉事務所との連携を強化し、保護世帯利用者の受入れ、利用障害者の支援に努めてまいりました。

また、就労支援 B 型基準該当施設として利用者の受入れにも取り組んでおり、3 月末の利用者は 10 名で、事業授産利用者 33 名と合わせて合計 43 名が就労しています。

「働く・暮す」の支援の充実のため、福祉施策と労働施策の両面にわたり積極的に取り組み、高工賃の支給、個人の体力等に合わせた就労日・時間を設定し、環境作りを整備してまいりました。

作業の安定化、作業効率の向上については、単純作業であるユニホームクリーニングが良好な成果を出しているが、工場スペースが狭隘となっているため、安価な海上コンテナを 4 台購入し、作業内容の軽減をすることが出来ました。また、新たに 60K 乾燥機をリネン工場に増設し、作業の効率化を図ることが出来ました。

サービスの安定提供につきましては、授産事業作業量の確保のた

め、閑散期にベアリング作業の入荷増依頼とペンション等のリネン業務を拡大したことにより、安定した工賃支給につなげることが出来ました。また、利用者のニーズに応えるため個別面談を実施し、利用者の安心・安全な生活の実現に向けて、生活指導、家庭訪問等も随時必要に応じて実施いたしました。

狭隘した工場スペースの改善のため進めてまいりました、不動産の購入については、改修費用が予算を大幅に超過し、資金調達が困難になったため契約を解除し、支払い済みの手付金 100 万円については、契約書第 3 条により放棄いたしました。

具体的な運営状況は以下のとおりです。

2. 施設利用者状況(平成 30 年 3 月 31 日現在)

区 分	定員	利用種別	人数	備 考
事業授産	30 人	低所得者	28 人	定員 3 人増・33 人
		保護世帯	5 人	
		うち (知的障害)	11 人	
		(身体障害)	2 人	
		(精神疾患)	4 人	
		(ひとり親)	2 人	

		(その他)	14 人	
就労継続 B 型支援 (基準該当)	10 人	うち (知的障害) (身体障害) (精神疾患)	8 人 1 人 1 人	
合 計	40 人		43 人	

3. 経営状況

授産事業につきましては、人口減によるホームクリーニング部門の売上減が懸念されるなか、富良野・美瑛方面のペンション関係が好調で新規顧客も増えており、順調に売上を伸ばすことができました。また、ベアリング部門についても、クリーニング閑散期に入荷増を依頼し、売上増を図ることに成功したため、全体的には前年度対比 13,544 千円の増と大幅に売上を伸ばすことができました。

さらに、措置費収入は利用者増と基準額の改定により 629 千円の増収、自立支援費も就労単位日数の増加により 101 千円の増収となり、収入全体では、14,275 千円の大幅な増収で収入合計金額は 176,492 千円となりました。

一方、経費に於いては 15,879 千円の増額となりましたが、経費全

体では減価償却費も合わせて 171,482 千円で 5,009 千円の収支差額を出すことが出来ました。

その他、サービス活動外収支、特別増減収支を合計した収支差額は 5,016 千円となり、次期繰越差額は 97,512 千円となりました。

また、本部会計より 3,300 千円の繰り入れを行い、老朽化したクリーニング機器の計画的な更新、さらには緊急時に備えるために 10,000 千円の積立を実施いたしました。

収益事業につきましては、上芦別保育園の閉鎖により、清掃部門が 1,795 千円の減収となり、経費に於いては租税公課の増額により収支差額は前年度対比マイナス 2,407 千円の 2,933 千円で、雑収入と合わせて 3,000 千円を本部会計に繰り入れいたしました。売店部門は病院売店が一階への移転の成果で前年度対比 923 千円の増額となり、市役所売店は消防署の移転により、777 千円の減額となりました。合計売上は 145 千円増額の 27,500 千円でしたが、費用についても増額されており、収支差額は雑収益と合わせて 1,116 千円で、300 千円を本部会計に繰り入れいたしました。

結果、授産事業、収益事業、共に概ね運営は順調です。

4. 各種事業活動結果

年・月・日	事業活動内容	摘要
	【諸会議の開催】	
随時	理事会の開催	年間6回
随時	評議員会の開催	年間3回
毎月	職員会議の開催	
毎日	職員ミーティング	
	【監査】	
定期	巡回監査(さくら総合会計事務所)	年間6回
定期	監事監査	年間4回
定期	運営指導(空知総合振興局・書面監査)	
	【親睦事業】	
5月13日	観桜会	白友会
6月14日	焼肉会	職員・利用者
9月3日	ふれあい広場	自由参加
9月29日	焼肉会(焼肉ガーデン)	職員・利用者
12月2日	勤労者共済会クリスマスパーティ	自由参加
12月15日	忘年会	白友会
1月19日	新年会	白光舎・白友会
2月1日	雑煮会	職員・利用者
	【健康管理事業】	
随時	第1回 健康診断	基準該当利用者
1月23日	第2回 健康診断	職員・利用者
	【避難訓練】	
10月5日	自然災害総合訓練(通報・避難・消火・救助)	職員・利用者
10月12日	土砂災害訓練(ケアハウス合同)	職員・利用者
	【福祉サービス事業】	
随時	三者面談	
随時	個人面談	
随時	家庭訪問	
	【研修・出張】	
4月20日	就業管理セミナー	日帰り
5月19日	クリーニング機器展示会・講習会	日帰り(3名)
5月30日	清掃作業監督者講習	日帰り
5月25日	増改築工事事前打合せ(空知総合振興局)	日帰り
6月16日	全国社会就労センター幹事会	1泊2日

6月28日	北海道社会就労センター研修会	1泊2日
7月3日	社会福祉法人経営者セミナー	日帰り
7月26日	全国社会就労センター総合研究大会	2泊3日
8月4日	空知障がい者生活支援センター連絡会議	日帰り
8月18日	社会福祉法人向け実務実践セミナー	日帰り
8月23日	新指導監査実施要綱対応セミナー	日帰り
9月11日	社会福祉施設ブロック研修会	日帰り
9月13日	社会福祉法人会計セミナー	日帰り
9月21日	授産施設連絡協議会施設長研修	1泊2日
9月23日	(株)光生舎リースキン代理店会議	1泊2日
9月26日	利用者向上・就労支援研修	1泊2日
9月22日	内部監査強化経営戦略セミナー	日帰り
10月23日	障がい者虐待防止権利擁護研修	1泊2日
10月26日	身体障がい者福祉施設職員研修会	1泊2日
10月18日	安全衛生推進者養成講習	1泊2日
11月1日	経営労務管理セミナー	日帰り(2名)
11月6日	民間社会福祉事業職員共済会業務説明会	日帰り
11月9日	危険物安全協会視察研修	日帰り
11月13日	地震 GCP 訓練体験セミナー	日帰り
11月27日	社会福祉法人会計セミナー	日帰り
12月1日	不動産購入(進捗状況報告・打合せ)	日帰り
12月7日	全国社会就労センター生保・社会事業幹事会	1泊2日
1月30日	社会福祉主事資格認定スクーリング	5泊6日
2月5日	光生舎(リネン関係取引打合せ)	日帰り
2月22日	全国社会就労センター長研修会	2泊3日(2名)
3月7日	北海道社会就労センター職員研修会	1泊2日
3月10日	障がい者就労支援セミナー	日帰り
3月19日	地域における公益的な取組フォーラム	日帰り

注記 平成29年度事業報告には、社会福祉法施行規則第2条の25第3項に規定する付属明細書の「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成していません。

ケアハウスあしべつ

平成 29 年度事業報告

1 総括

ケアハウスあしべつの運営を開始してから 12 年が経過しました。芦別市の高齢化社会の進行により、介護を必要とする方や独居に不安を抱える高齢者が増大している中であって、当施設は、その現状を踏まえて市民のニーズに応じていくとともに、入居者の心身レベルの低下傾向に配慮して、特定施設入居者生活介護及び介護予防特定施設入居者生活介護の対象となる定員 30 人と一般入居者定員 20 人の合計 50 人定員で運営し、高齢者福祉の受け皿施設としての使命・役割を認識し、入居希望者及び入居者への高齢者福祉サービスの充実向上に努めたところであります。

加えて、当施設の基本理念「私たちは、入居者様一人ひとりを敬愛し、笑顔、思いやり、親切、丁寧、誠実、公平の姿勢で取り組み、信頼される施設を目指します」を定め、この基本理念に沿って、入居されている方々や家族が安心できる施設づくりを目指し、入居者一人ひとりのライフスタイルを尊重し、健康で安全なゆとりある生活ができるよう、個々のニーズに沿った良質なサービスの提供に努めたところであります。

また一方で、平成 27 年度に国の第 6 期介護保険事業計画による介護保険制度改正が行われ、介護職員処遇改善措置がなされたものの、介護報酬単価

引下げの影響を引きずり、当施設の経営収支の不透明感を払しょくすることができないことから、平成 29 年度も引き続き事業活動収入増の模索及び事業活動経費支出の節減のほか、職員給料月額(賃金日額を含む。)の 5 パーセントカットを実施し、健全経営の構築に取り組んだところであります。

具体的な施設運営状況は、以下のとおりです。

2 施設入居者状況 (平成 30 年 3 月 31 日現在)

区 分	定員	入居者数	男性	女性	要介護度別	摘 要
特定施設及び介護予防 特定施設入居者生活介護	30 人	29 人	1 人	28 人	要支援 1…1 人 要支援 2…2 人 要介護 1…18 人 要介護 2…6 人 要介護 3…2 人 要介護 4…0 人 要介護 5…0 人	平成 29 年度退居者…8 人 平成 29 年度入居者…7 人
ケアハウス一般入居者	20 人	19 人	8 人	11 人		平成 29 年度退居者…7 人 平成 29 年度入居者…6 人
計	50 人	48 人	9 人	39 人		

※ 待機状況 (平成 30 年 3 月 31 日現在)

区 分	男 性	女 性	合 計
特定施設入居希望者	5 人	6 人	11 人
一般入居希望者	7 人	11 人	18 人
合 計	12 人	17 人	29 人

3 経営状況

平成 29 年度決算につきまして、まず収入においては、ケアハウス一般の対象となる定員 20 人並びに特定施設入居者生活介護及び介護予防特定施設入

居者生活介護の対象となる定員 30 人で運営してまいりましたが、入居者の死亡・自主退去が重なり、前年度より介護サービス利用稼働率（91.15%）が低下したことによる介護保険収入が減少（対前年比 809 千円減）し、同様に入居者稼働率（92.85%）が低下したことによる老人福祉事業収入の減少（対前年比 3,542 千円減）があったところであります。（収入合計 135,718 千円・対前年比 4,465 千円減）

支出においては、経費支出の節減に努める中で、原油価格高騰による燃料費増（対前年比 918 千円増）、最低賃金改定に伴う委託料増（対前年比 906 千円増）及び施設整備等に係る電話交換機更新等による固定資産取得支出増（対前年比 2,789 千円増）などの増加があった一方で、職員の給料月額（賃金日額）5 パーセントカット及び退職者正規職員の後任不補充期間発生の影響に伴う職員給与費減とその職員代替臨時職員雇用の賃金増との相殺による人件費支出減（対前年比 880 千円減）及び積立資産支出減（対前年比 6,500 千円減）などの減少がありました。（支出合計 133,855 千円・対前年比 3,681 千円減）

その結果として、平成 29 年度決算は、当期資金収支差額としては、前年度対比で減収・増益による 1,863 千円（対前年比 784 千円減）が生じ、当期末支払資金残高は 26,413 千円（前期末支払資金残高 24,549 千円）になったところであります。

なお、単年度決算としては、当期資金収支差額 1,863 千円の黒字であり、

積立金が前年度より減少しましたが、2,500 千円を積み立てられたことは、
良好な結果を得ることができたと考えております。

詳しい内容は、別記決算書のとおりであります。

4 各種事業活動等結果

年・月・日	事業活動等内容	摘要
毎日 随時 随時 毎日 定期 定期 定期 随時 4月～10月	<p>(事業活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護支援(食事・清掃・入浴・排泄・通院・買物等) ・介護計画(ケアプラン)の作成及び家族等への周知 ・相談支援(心身・日常生活上の相談に対する適切な対応) ・給食(安心かつ安全な食事の提供) ・機能訓練(身体機能維持向上の運動) ・健康管理(毎週1回の身体測定及び年1回の健康診断・散歩) ・火災避難訓練(春)及び土砂災害想定訓練(秋・総合訓練～別記)の実施 ・入居者近況報告(介護状況・日常生活状況の家族等への報告及び広報誌「さくら」の送付) ・花畑作り(希望者に1区画(2.3㎡)ずつ与え、花や野菜作りをして自立心を養った。) 	看護職員・介護職員対応 介護支援専門員対応 生活相談員対応 栄養士対応 機能訓練指導員対応 全入居者対象 春と秋の2回実施 入居者家族等へ送付 ケアハウス敷地20区画
随時 毎月 随時 毎月 毎月 毎月 毎月	<p>(各種会議)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営懇談会(入居者からの要望聴取及び施設側の注意事項伝達) ・管理運営会議(主任以上で施設経営・業務運営に関する検討・協議) ・定例会議(職員全員が情報交換・情報共有を密にし、効率的な施設運営の検討) ・サービス担当者会議(介護支援ケース検討) ・ステーション会議(入居者全般へのサービス業務運営の検討) ・レクリエーション担当者会議(毎年実施のレクリエーション内容の企画・検証) ・行事担当者会議(年間イベント行事内容の企画・検証) 	1回開催 12回開催 12回開催 7回開催 12回開催 12回開催
毎月 毎月 毎月 毎月 随時 随時	<p>(各種委員会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食委員会(安心安全な食事提供への検証) ・リスクマネジメント委員会(ヒヤリハット・事故報告検証) ・身体拘束廃止委員会(身体拘束及び解除決定の審議) ・感染症対策委員会(ノロウイルス・インフルエンザ等の感染症予防対策検討) ・防災対策委員会(災害予防及び災害応急対策の総合的な検討) ・業務改善委員会(入居者サービス向上を図るための業務処理能率化の検討) 	12回開催 12回開催 12回開催 12回開催 2回開催 8回開催
毎月最終木曜日 4月20日 5月4日～5月18日 6月8日 6月13日	<p>(各種行事)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お誕生会 ・ケアハウスあしべつ開設記念茶話会(コーヒー・紅茶・煎茶・ケーキ) ・お花見(パックジュース・お菓子) ・春のスポーツ大会(ロープリレー・魚釣りゲーム等) ・防災講習会(防災訓練内容説明及び防災知識の普及) 	地域交流ホール 地域交流ホール 旭ヶ丘公園 地域交流ホール 地域交流ホール

年・月・日	事業活動等内容	摘要
6月22日 7月8日 8月10日 9月7・14・21日 9月28日 10月5日 10月11日 11月9日 12月21日 1月25日 2月1日 3月1日 随時	<ul style="list-style-type: none"> ・婦人服・紳士服等販売会(ラルズプラザ芦別店) ・ジーンズスカンパ―パーティー(入居者・職員 47 人、家族 27 人、町内会 4 人参加) ・納涼流しそうめん (そうめん・ミニトマト・きゅうり) 及びお弁当 ・ほんだケーキ飲食会(31 人参加) ・敬老会 ・軽運動会(紅白新・玉よ入れ、おやつをゲットだぜ、引張ってポン等) ・防災講習会(土砂災害想定訓練内容説明及び防災知識の普及) ・婦人服・紳士服等販売会(キャンデイ～札幌店) ・クリスマスパーティー ・新年会(福引き) ・節分豆まき (無病息災、厄除け、家内安全を願って) ・ひなまつり(甘酒・ひなあられ等) ・おやつ会(アイスクリーム・かぼちゃ団子・お汁粉) 	地域交流ホール 正面玄関前広場 地域交流ホール ほんだケーキ屋 地域交流ホール 地域交流ホール 地域交流ホール 地域交流ホール 地域交流ホール 地域交流ホール 地域交流ホール 地域交流ホール
4月27日 5月25日 8月22日 9月28日 11月16日 12月22日	(ボランティア団体等との交流) <ul style="list-style-type: none"> ・舞踊鑑賞 ・民謡鑑賞 ・落語鑑賞 ・歌謡曲鑑賞 ・大正琴鑑賞 ・民謡鑑賞 	明友会一行(8人) 芦別民謡研究会一行 (7人) 桂枝太郎師匠・ようへい様 保坂八重子・重原美子様 琴星会一行(6人) 秀晴会一行 (8人)
	(入居者間のふれあい交流) レクリエーションによるふれあい交流を通して、入居者の方々が明るく楽しい生活を送ることができた。 <レクリエーション内容> カラオケ・五目並べ・オセロ・麻雀・百人一首・福笑い・将棋 ・トランプ・花札・いろはかるた・ひらがなビンゴ・書初め・きり紙はり絵・色鉛筆塗り絵・ステンドグラスはり絵・うちわ制作・雛人形作り・風船バレー・棒サッカー	

5 職員研修状況

関係機関が主催する次の研修会等に積極的に参加し、専門知識・技術の習得を通して、職員一人ひとりが柔軟かつ臨機応変に対応できる資質の向上に努めました。

対象職員	研修会名	摘要
介護職員	<ul style="list-style-type: none"> ・リスクマネジメント研修(札幌市) ・高齢者虐待防止推進(基礎編)研修会(札幌市) ・高齢者虐待防止推進(施設編)研修会(札幌市) ・福祉専門職のためのキャリアアップ研修(札幌市) ・メンタルヘルス研修(札幌市) 	日帰り(1回) 日帰り(1回) 日帰り(1回) 1泊2日(1回) 1泊2日(1回)
栄養士	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養管理研修会(滝川市) ・感染症予防対策研修会(滝川市) ・栄養士専門研修(札幌市) 	日帰り(1回) 日帰り(1回) 1泊2日(1回)
管理課長	<ul style="list-style-type: none"> ・介護報酬改定等事業者説明会(岩見沢市) 	日帰り(1回)
施設長	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険施設等集団指導(岩見沢市) ・福祉施設の給与制度改定のポイントセミナー(札幌市) 	日帰り(1回) 日帰り(1回)
職員全員対象	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症発生時対応研修会(内部研修) ・防災研修会(内部研修) 	3回 2回

注記 平成29年度事業報告には、社会福祉法施行規則第2条の25第3項に規定する付属明細書の「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、作成していません。